医学部学士編入NEWS

KALS 河合塾KALS 医学部学士編入講座事務局　2022 年 3 月号

CONTENTS

Page. 1　学士編入試験における小論文について（参考文献）

Page. 3　事務局より

学士編入試験における小論文について（参考文献）

学士編入試験において小論文が果たす役割は、言うまでもなく、それほど大きなものではありません。20 講まで無事に終わり、ちょっと一休み、という感じだと思いますが、実際に試験で必要になるまで、小論文には取り組まないという人も多いでしょう（賢明です）。あるいは、そもそも 20 講まで辿り着かず、途中で終わっている、という方も多いのではないでしょうか（やむを得ません）。

そんな中、この貴重な NEWS において、小論文ネタを展開するのは、あまり好ましいことではないと思いますが、と言って、NEWS の中に小論文ネタが全くないのも残念ですし、何より、案外この時期は、志望理由書を考えるにあたって何らかのヒントが欲しい、という方も多いかと思いますので、ここでは、少し参考文献になるようなものを挙げておきたいと思います。コンセプトは「できるだけ安く」。せいぜいで新書のレベル（最近は新書も高いですけど）で留めておきます。これらを読んで賢くなる、というわけではなく、ちょっと気になることがあったら、それらをヒントに、志望理由書に活用したり、小論文の授業で気になったところを深めていったりなどして、活用していただけると幸いです。

①DOCTORASE（https://www.med.or.jp/doctor-ase/vol40/index.html）

いきなり無料の Web サイトの引用です。これは日本医師会が医学生のために提供している小冊子になります。それほど頻繁に発行されているわけではありませんが、2022 年 1 月に発行された Vol.40 では、Special Contents として「予防接種を知る」というものが掲載されています。こういった、専門とは言えないまでもちょっと踏み込んだ内容（対象読者が医学生なので、一般書よりもちょっと踏み込んでいます）も大いに役立つのですが、個人的にそれと同じくらいに有用ではないかと考えるのが、各号に出てくる先輩医師に関する記事です。どのようなキャリアを歩んできて、今はどのようなことをしているのか、現場レベルでどのような課題を感じていて、その解決に向けてどのようなことに取り組んでいこうと考えているのか、といった生の声は、志望理由や将来像に悩んでいる人にとって、ある種のロールモデルを提示してくれるものになるかもしれません。

②「人口減少と社会保障　－　孤立と縮小を乗り越える」山崎史郎著

これは中公新書になります。2017 年の発刊なので、少し古い（コロナ前ということを考慮する必要があると思います）ですが、社会保障制度の大枠を理解する上で、有用な書であると考えます。小論文でも、

第 1 講の「セルフメディケーション」、第 3 講の「医療制度の選択」（この講の課題文である桐野高明著「医療の選択」も、古いですが良い本だと思います）などは、広い意味で医療制度関連の話題と言えます。これらの問題に対する苦手意識がある場合は、こういった書を読んで、思考の枠組みを作ると良いでしょう。なお、コロナ後ということを意識するなら、鈴木亘著「社会保障と財政の危機」が良いかもしれません。

③「安全な医療のための『働き方改革』」植山 直人、佐々木 司著

第 2 講「応召義務」や第 20 講「医師の働き方改革」に関連する書となります。特に第 20 講については、愛媛大学の問題を取り上げましたが、働き方改革に関する問題は他の大学でも散見されます。それをわかりやすく解説してあるのがこの書です。岩波ブックレットで薄い本ですから、短時間で読むことができる、というのも良いところですね。コロナ禍という未曾有の危機の中、医療従事者個人の努力によって支えられている状況は、働き方改革の流れを停滞させるものになりかねません。そういったところも少し考えていこうとするならば、また鈴木亘の著になりますが「医療崩壊　真犯人は誰だ」も参考になると思います。

④「命は誰のものか　増補改訂版」香川知晶著

第 4 講「透析患者への対応」、第 5 講「出自を知る権利」、第 12 講「心停止後臓器移植」、第 15 講「難病と安楽死」、第 17 講「出生前診断」、第 18 講「ゲノム編集」は、生命倫理に関する問題です。非常に取り組みづらい問題が多く、敬遠されがちですが、講義でも説明した通り、一定の頻度で出題されるものとなります。また英文での出題も見られることから、避けられないものとして意識しておくほうが良いでしょう。これらは、背景知識の有無により問題の理解度が大きく異なるものであり、ゆえに、知識のストックを作っておくのが得策です。取り上げた本は、もともと 2009 年刊ですが、その後の医療の進展に伴い内容を改め、2021 年に増補改訂版として出版されたものです。結果として、新しい内容と古い内容が混在しており、ややチグハグな感じもあるのですが、言い換えると、古い内容を押さえることで、問題の歴史的経緯（というとちょっと大袈裟ですけど）までカバーしながら考えることができるという点で有用と思われます。またその内容も、生命倫理に関する事柄は概ねカバーできていますので、読んでおいて損のないものだと言えるでしょう。なお、安楽死や尊厳死に関する本としては安藤泰至著「安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと」もお薦めです。同著者が監修となり、京都 ALS 嘱託殺人について論じた「見捨てられる〈いのち〉を考える」という本は、ちょっと高いですけど、一つの見方を提供してくれるものです。臓器移植に関しては、いなずまたかし作「ドナー法―ある臓器移植コーディネーターの記録―」という漫画もあります。漫画というのは、大変ありがたいものですね。

⑤「命の格差は止められるか: ハーバード日本人教授の、世界が注目する授業」イチローカワチ著

第 11 講「生活習慣病」、第 14 講「健康格差」に関するお話は、おそらく、コロナ禍でさらに目立つものになると思います。そのネタに関する、もはや古典と言っても良いかもしれないものになるのがこの本です。古典といっても 2013 年刊行ですけど。とはいえ、古いといえば古いですね。しかし、内容は全く古びておらず、むしろ、非常に勉強になります。第 14 講で説明した「収入と寿命の曲線」に関する詳しい説明から書き起こし、健康格差についてわかりやすく論理的に解説している本ですから、興味のある方はぜひ読んでみてください。なお、健康格差の現実をドキュメンタリー風に描いているのが NHK スペシャル取材班「健康格差 あなたの寿命は社会が決める」です。こちらは 2017 年の刊行ですから、ちょっと

新しいですね。この問題に対してよりアカデミックな立場からアプローチしたいのなら、これもちょっと高いですけど、小塩隆士著「日本人の健康を社会科学で考える」という本をお薦めします。

⑥「地域医療は再生するか~コロナ禍における提供体制改革」三原岳著

第 7 講「病院の外の医療」や第 20 講「医師の働き方改革」でも話題になった地域医療。みなさんの中にも、こういったところに注目している人は多いかもしれません。ただ、地域医療に関する本はなかなかないのが現状です。その中でも比較的手を出しやすいかな、というのがこの本になります。ただ、著者は民間シンクタンクの研究員であり、医師ではないため、やや「現場感」に乏しいところがあるかもしれません。これに現場感が加わったものが横山壽一、長友 薫輝著・編集「地域の病院は命の砦 地域医療をつくる政策と行動」になります。また、もっと制度的な枠組みを考えていこうとしているのが二木立著「地域包括ケアと医療・ソーシャルワーク」であり、反対に、もっと実践的なところを紹介しているのが佐々木淳著「在宅医療カレッジ: 地域共生社会を支える多職種の学び 21 講」になります（チーム医療を考える上でもヒントを与えてくれる本です)。自分の好みに合わせて読んでみてください（いずれもちょっと高いですけど)。ちょっと面白いのが山崎亮著「ケアするまちのデザイン:対話で探る超長寿時代のまちづくり」です。医療を通した町づくり、というコンセプトに魅力を感じる方も多いかもしれません。その実践例が紹介されています。

⑦「死別の悲しみに向き合う―グリーフケアとは何か」坂口幸弘著

第 8 講「終末期医療」や第 9 講「SP」に関わる本も、と思って挙げました。2013 年に刊行されたものであり、やや古いですが、内容としては全く古びるものではありません。著者は医者ではないのですが、そのこともあって、むしろ冷静に現場を観察・研究することができているのが良い点です。多死社会にあって、終末期医療に関する話題は避けられません。在宅とか ACP とか、制度的な面も重要ですけど、根っこのところの人間関係を考えていくことこそ、その人間関係のための制度であることこそ、重要だよね、ということを考えていく必要があるかもしれませんね。なお、医師と患者とのコミュニケーションということに注目した本として、これも高いのですが、斎藤清二著「医療におけるナラティブとエビデンス　改訂版　対立から調和へ」というものがあります。EBM と NBM は対立するものではなく、むしろ両方とも必須だ、というのは、当然なのですが、見落とされがちかもしれないですね。医療者と患者とのコミュニケーションを考える上で有用な 1 冊（医者になってからも役立つ 1 冊）だと思います。

さて、これら以外にも、小論文ではいろいろなものを扱いました。それ以外にも、精子取り引きトラブルをめぐる裁判など、さまざまな話がありましたし、例えば、認知症に関する話など、避けられない話題もあります。自分の興味や関心を深めるために、息抜きがてら、こういった本やさまざまな媒体に目を通してみるのも良いかもしれないですね。

あ、ちなみに、河合出版から出ている「医学・医療概説―医学部進学のための特別講座」は、一般入試を受験する方に、最低限、これくらいは知っておこうね、というコンセプトでまとめられたものですから、編入を受験するみなさんも、これくらいは知っておいてね、という感じでもあります。また、医学書院から出ている「学生のための医療概論　第 4 版」は医療系の大学 1 年生向けの教科書という位置付けのものになるので、これもまた、編入を受験するみなさんにとって、知っておいてね、というものになると思いますので、値段は度外視して提示しておきます。

（文責　加賀健司）

事務局より

【緊急・重要／新型コロナウイルス関連】

【注意喚起】 新型コロナウイルス等、感染予防のお願い

◆マイルーム利用停止期間のお知らせ

2022 年 3 月に、当校 e ラーニングを運用している株式会社ネットラーニングにおいて、
より安定したサービスの提供を目的にデータセンター移転を実施いたします。
それに伴い、以下の期間、マイルーム（講義動画視聴）がご利用いただけなくなります。
ご不便をおかけすることとなり、大変申し訳ございませんが、
何卒ご理解・ご了承いただけますようお願い申し上げます。

【マイルームご利用停止期間（日本時間）】
2022 年 3 月 12 日（土）0:00 ～ 2022 年 3 月 13 日（日）23:59
予備日：2022 年 3 月 14 日（月）

※サービス再開の時刻につきましては、作業の進捗により変更となる場合がございます。
※マイルームのログイン画面でもお知らせをしています。

◇入試情報を確認しましょう

以下ページにて、各大学の試験情報をお知らせしています。
情報を入手し次第更新しておりますが、
ご自身でも日頃から受験予定の大学ホームページを確認しましょう。
各大学の試験日程の一覧・カレンダーも随時更新していますので、ご確認ください。

＜入試情報＞
https://school.kals.jp/information/medical-trn-exn
※更新の際は都度マイルームにてお知らせしています。
＜マイルームトップページ「管理者からのメッセージ」内にも同ページのリンク設置＞

◇【資料】個人面接の質問事項・集団討論のテーマ（2020、2019、2018 年度版）

受験生にご提供いただいた「面接アンケート」をもとに、2020、2019、2018 年度実施の各大学の個人面接質問事項・集団討論テーマを取りまとめ編集した資料を、マイルームにアップしています。
閲覧のみ（印刷不可）の資料となりますが、今後の面接・集団討論の対策として、ぜひご活用ください。
※マイルームトップ ＞ ライブラリページよりご確認ください。

≪2022年度実施試験対応≫

【各種テスト】

◆　完成シリーズ実力テスト

◎受験対象：2022 年実施試験対応講座　**全受講生**

◎対象科目・範囲：「英語」・「生命科学」完成シリーズ全範囲（記述式）

◎試験時間：「英語」60 分・「生命科学」90 分

※受験方法の登録期間は終了しています。

★事前登録された方

▸会場受験でご登録された方：

各校舎での会場実施は終了いたしました。
登録したものの当日会場で受験できなかった方は、
登録された校舎窓口にて問題・解答用紙を受け取り、
自宅受験の提出期限である 3/9(水)までに校舎窓口へご提出ください。

▸自宅受験でご登録された方：

答案提出期限：　3/9(水)郵送必着

※講評データには反映されませんが、上記スケジュール以降も
完成シリーズ受講期限（8/31(水)）までに答案を提出いただければ、採点いたします。

◆完成シリーズ「生命科学」 中間テスト

◎受験対象：2022 年実施試験対応　完成シリーズ「生命科学」受講生

◎対象範囲：「生命科学」完成シリーズ第 1 講～8 講（記述式）

◎試験時間：90 分（記述式）

受験方法の登録（登録期間は終了しています）をしていない方には、
順次、問題・解答用紙・提出用封筒を発送いたします。
完成シリーズ受講期限（8/31(水)）までに答案を提出いただければ、採点いたします。
※詳細は下記ページの「■期日後の採点受付スケジュール」をご確認ください。

＜詳細はこちら＞
https://school.kals.jp/information/medical-trn_mdd-tst-2022

◆　実戦シリーズ「生命科学」 中間テスト

◎受験対象：2022 年実施試験対応　実戦シリーズ「生命科学」受講生

◎出題範囲：第 1 講～第 6 講

◎試験時間：90 分（記述式）

受験にあたっては、新たにお申し込みや受験料は必要ありませんが、
事前に受験方法（会場）の申込登録が必要です。
下記フォームより、試験日程・スケジュールをご確認の上

3/6(日)15:00 までに受験方法の登録を行ってください。

▸会場実施日一覧
【新宿本校】3/19（土）14:00～15:30
【名駅校】3/26（土）13:00～14:30
【新大阪校】3/27（日）13:30～15:00

▸自宅受験スケジュール
問題発送予定日： 3/22(火)
答案提出期限： 4/6(水)必着

＜日程等詳細・受験登録はこちら＞
https://school.kals.jp/information/medical-trn_mdd-adv-tst-2022

◆2022 年度実施試験対応　公開模試　申込受付中！

＜日程等詳細・お申込みはこちら＞
https://www.kals.jp/medical-trn/curriculum/tst/index_2022.html

※会場実施はございません。

＜お申込（お支払）期限＞
第 1 回公開模試（記述式） 4 月 7 日（木）迄
第 2 回公開模試（記号式） 5 月 6 日（金）迄

※期限を過ぎてからのお申し込みは一切できません。余裕を持ってお手続きください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
◆2022 年実施試験対応講座　受講生対象　チュートリアル

◆完成実力テスト解説講義（生命科学 120 分／英語 90 分）
【新宿本校】 「生命科学」 2/27（日）14:00～16:00 「英語」3/6（日）14:00～15:30
【名駅校】 「生命科学」 3/4(金)～ 「英語」3/11（金）～ DVD 視聴開始
【新大阪校】 「生命科学」2/27（日）13:30～15:30 「英語」2/26（土）10:00～11:30

【マイルーム】「生命科学」 3/8(火)　「英語」3/15(火) アップ予定

◆物理化学　最新の出題傾向と対策（60 分）
～物理化学における 2021 年実施試験を含めた最新の出題傾向と対策について解説します。
【新宿本校】 2/26(土) 14:00～15:00
【名駅校】【新大阪校】3/3(木)～ DVD 視聴可能
【マイルーム】 3/7(月)～ 配信予定

★下記のチュートリアルは、すべての校舎でDVD視聴可能（通学生）、マイルーム配信中です。
「基礎復習テスト 生命科学①②③ 解説講義」 各 120 分
「基礎力判定テスト 解説講義」英語・物理・化学 各 60 分
「受験校の選択」 90 分
「出願書類の書き方」 90 分
「完成生命科学 中間テスト解説講義」 120 分

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
◆2022 年実施試験対応講座 受講生対象 限定講座 ＜お申込受付中＞

① 志望理由書〔添削付〕個別指導講座
構成や書き方について KALS 講師がきめ細かく添削し、
個別にフィードバックすることで志望理由書の完成度を上げる受講生限定講座です。
受験大学にかかわらず、まずは志望動機の土台を構築することが重要ですので、
早めの対策をお薦めします。

◎申込期限：2022 年 5 月 31 日（火）
◎申込対象者：2022 年度実施試験対応講座 全受講生
◎受講料：18,700 円
◎志望理由書の添削（2 回）と個別指導（1 回／30 分）がセットになります。

▼詳細・お申込みはこちら▼
https://school.kals.jp/information/medical-trn-indvdllrn2022

② 文系のためのミニマム数学【WEB 通信講座】
生命科学を学ぶ上で、対数、微分などの最低限の知識が必要です。
“勉強時間の都合で自習できない”という方を対象に必要最低限の数学（確率・統計は除く）の知識と考え方を勉強していただく講座です。全 3 講（1 コマ 120 分）です。
＜名駅校のみ DVD 講座も設置いたします。詳細は名駅校へお問い合わせください。＞

▼詳細・お申込みはこちら▼
https://school.kals.jp/information/medical-trn-minmath2022

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

◆　2022 年度実施試験対応　直前対策講座

■出願書類（課題論文）対策　＜お申込み込受付中＞

既に志望理由を固めていることを前提とし、試験直前期の対策として
各大学のテーマ・文字数に合わせた出願書類の完成を目指す添削完結型講座です。

※お申込みは WEB 申込のみとなります。

＜詳細・お申込はこちら＞
https://school.kals.jp/information/medical-trn-premium2022/dcm2022

※こちらは志望理由が固まっている方を前提とした講座です。
志望理由が固まっていない方や構成や書き方の指導を希望される方は、
受講生限定講座「志望理由書[添削付]個別指導講座」をご利用ください。

■プレミアム講座

入試直前期の ONE　UP として、過去問分析や発展分野の対策講座を設置いたします。
お申し込みは 3/10(木)～、視聴開始は 4/28（木）を予定しています。詳細は KALS HP にてご確認ください。
※全講座 e ラーニングです。
※お申込みは WEB 申込のみとなります。

＜日程等詳細・お申込みはこちら＞
https://school.kals.jp/information/medical-trn-premium2022

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

≪皆様へのご案内≫

◆生命科学テストバンク【WEB 通信講座】 お申込受付中！

オリジナルの記号式問題演習ツールです。「練習テスト」「模擬テスト」の 2 パターンから構成されており、
繰り返し利用することで体系的な知識整理が可能です。
高校範囲を主に扱う「基礎編」と、大学の生命科学に特化した「標準編」のレベルがあります。

▼詳細・お申し込みはこちら▼
【基礎編】https://school.kals.jp/information/medical-trn-14121202
【標準編】https://school.kals.jp/information/medical-trn-141212

◆【新大阪校】電話番号・受付時間変更のお知らせ

2 月 1 日より、下記の通り新大阪校の電話番号および受付時間が変更となりました。
ご不便おかけいたしますが、ご確認の上お間違いのないようお願い申し上げます。
※マイルームでご案内のとおり、当初予告より繰り上げての変更となりました。

電話番号　06-6325-8203

受付時間 火～金（第 2 水曜を除く） 12:30～20:00、 第 2 水・土・日・祝　10:00～17:00
※自習室利用時間に変更はありません。

◆個別カウンセリングのご案内

マイルーム「個別カウンセリングページ」をリニューアルしました。

各校舎在籍チューターによる紹介動画を掲載、チューターごとの特性や
校舎ごとの実施状況もご確認いただけます。
https://school.kals.jp/information/medical-trn-tutor

※ご予約方法は校舎によって異なります。
※次月分は毎月 25 日頃決定分より順次予約受付開始となります。
※個別カウンセリング利用にあたっては、通学・通信問わず個人登録シートが必要です。
ご提出していない方は、お早めにご提出ください。